

特定個人情報保護評価書（素案） 用語解説			
※上から50音順・アルファベット順			
項番	索引	用語	解説
1	あ	暗号化	デジタルデータを、第三者に解読できない状態に変換すること。
2	い	インポートデータ	データベースに入力されるデータ。
3	え	エクスポートデータ	データベースから出力されるデータ。
4	き	キオスク端末	タッチパネルなどの簡単な操作で、必要な情報を入手したり、様々なサービスを利用したりすることができる端末装置のこと。コンビニ交付サービスにおいてはマルチコピー機が利用される。
5	く	クラウドサービス	データやソフトウェアを、ネットワーク経由で、サービスとして利用者に提供するもの。
6	こ	個人番号	住民一人ひとりに付与される12桁の番号（マイナンバー）。
7	さ	サーバー	ネットワーク上で情報やサービスを提供するコンピュータのこと。
8	し	住民基本台帳（住基）	氏名、生年月日、性別、住所などが記載された住民票を編成したもの。
9	し	住民基本台帳ネットワークシステム（住基ネット）	住民基本台帳を基礎とし、住民の利便性の向上や行政の合理化に資するために設置されている全国的なネットワークシステム。
10	し	住民記録システム（既存住民基本台帳システム）	住民情報オンラインシステムで取扱う事務のうち、住民基本台帳に関する事務を取扱うシステム。
11	し	情報セキュリティマネジメントシステム（ISO27001）	情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）に関する国際規格。
12	し	情報提供ネットワークシステム	国や他機関が、番号法による特定個人情報の照会・提供を行うために使用するシステム。
13	し	情報提供・情報照会・情報移転	「情報提供」とは、情報提供ネットワークシステムを使用して他機関（国・他地方公共団体等）へ特定個人情報を提供すること。 「情報照会」とは、情報提供ネットワークシステムを使用して他機関（国・他地方公共団体等）へ特定個人情報を照会すること。 「情報移転」とは、情報提供ネットワークシステムを使用しないで庁内連携システム等により同一機関内の他部署へ特定個人情報を渡すこと。
14	し	新型インフルエンザ	季節性インフルエンザと抗原性が大きく異なるインフルエンザであって、一般に国民が免疫を獲得していないことから、全国的かつ急速なまん延により国民の生命および健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。
15	せ	セキュリティゲート	IDカード認証や生体認証等により、部外者の不正侵入を防止し、認証された人間だけ通行を許可するゲート。

特定個人情報保護評価書（素案） 用語解説

※上から50音順・アルファベット順

項番	索引	用語	解説
16	そ	総合行政ネットワーク (LG-WAN)	地方公共団体を相互にネットワーク接続することによって、情報の共有やコミュニケーションを促進するシステムであり、そのセキュリティ能力は非常に高いとされている。運営主体は、地方公共団体情報システム機構。
17	た	団体内統合宛名等システム	新宿区で保有している既存システムの各種情報と宛名情報（氏名・住所などの基本4情報や送付先住所など）を、番号法による特定個人情報の照会・提供のために統合・管理するシステムのこと。
18	た	団体内統合宛名番号	新宿区内で個人を一意に特定できる番号で、団体内統合宛名等システムで作成・管理されている番号。
19	ち	地方公共団体情報システム機構	住民基本台帳法、電子署名に係る地方公共団体の認証業務に係る法律及び番号法に基づく事務等の処理を行うことを目的として地方公共団体が共同して運営する法人。平成26年4月1日に設立。
20	ち	中間サーバー	情報提供ネットワークシステムと新宿区の庁内システムの情報授受を仲介するために設置されているシステム。
21	ち	中間サーバー・プラットフォーム	中間サーバーの拠点。
22	ち	庁内連携システム	住民情報オンラインシステムと庁内の他業務システムを接続しデータ連携するシステム。
23	て	電子記録媒体	電子的又は磁気的な方法など人の知覚によって認識することができない方法で記録する媒体。
24	と	特定個人情報	個人番号をその内容に含む個人情報。
25	と	個人情報保護委員会	個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）に基づき設置された合議制の機関。
26	な	名寄せ	データベースに登録されている同一人物のデータを統合すること。
27	は	バックアップストレージ	大型コンピュータやネットワークサーバーなどで複製データを長期間記憶するシステムや記憶媒体のこと。
28	は	バッチ	自動的に行われる一定・一連のシステム処理。
29	は	ハードウェア	コンピュータなどのシステムにおいて、機械、装置、設備、部品などの物理的な構成要素をいう。
30	ふ	ファイアウォール	外部との通信をコントロールし、外部からの不正なプログラムの侵入を防ぎ、内部コンピュータやネットワークの安全性を維持するシステム。

特定個人情報保護評価書（素案） 用語解説

※上から50音順・アルファベット順

項番	索引	用語	解説
31	ふ	符号	情報提供ネットワークシステムでの特定個人情報の照会・提供の際に用いる個人の識別子。
32	ふ	プライバシーマーク	個人情報保護に関して一定の要件を満たした事業者が使用を認められるマーク。
33	ふ	フラッシュメモリ	半導体素子を利用した記憶装置の一つで、何度も繰り返し書き込みができ、通電をやめても記憶内容が維持される機器。
34	み	ミドルウェア	コンピュータの基本的な制御を行うオペレーティングシステム(OS)と、各業務処理を行うアプリケーションソフトウェアとの中間に入るソフトウェアのこと。
35	む	シンクライアント	利用するコンピュータに最低限の機能だけを持たせて、サーバ側でアプリケーションソフトやファイルなどの管理を可能にするシステムの総称のこと。
36	よ	予防接種台帳	市町村長又は都道府県知事は、定期または臨時的予防接種を行ったときは、予防接種に関する記録を作成し、予防接種を行ったときから5年間保存しなければならないこととされている。 予防接種に関する記録すべき項目としては、予防接種を受けた者の住所、氏名、生年月日、性別及び実施の年月日、予防接種の種類、接種液の接種量等が定められ、それらを編成したもの。
37	り	リカバリ	破損したデータやハードウェアなどを復旧すること。障害回復、または単に回復とも呼ぶ。データを復旧する場合は、バックアップしておいたデータやログを利用する。
38	り	臨時的予防接種(臨時予防接種)	予防接種法において、疾病のまん延防止上、緊急の必要がある場合に実施される「臨時予防接種」が規定されている。臨時予防接種が行われる場合には、厚生労働大臣が疾病の種類を定め、都道府県知事が対象者や期日、期間など具体的な方法等について定めた上で実施される。
39	わ	ワクチン接種記録システム (VRS: Vaccination Record System)	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種にあたり、自治体がワクチン接種の状況を可能な限り逐次把握することを支援するため、政府が構築したクラウドサービス。
40	A	AI-OCR	OCR(光学文字認識)にAI(人工知能)を加えて、印字や手書き文字を高精度で認識し、デジタル化する技術のこと。
41	C	CSVファイル	テキストデータをフィールド(項目)に分け、区切り文字であるカンマ「,」で区切ったデータ形式で保存されたファイルのこと。
42	I	IaaS (アイアース、イアース: Infrastructure as a Service)	インターネット経由で、デスクトップ仮想化や共有ディスクなど、ハードウェアやインフラ機能の提供を行うサービスのこと。
43	L	LTO媒体 (Linear Tape-Open)	コンピューター用のデータ保存磁気テープ技術のことを指し、データカートリッジをドライブに差し込んで使用する記録装置をいう。
44	O	OS	オペレーティングシステムの略称。 ソフトウェアの種類の一つで、機器の基本的な管理や制御のための機能や、多くのソフトウェアが共通して利用する基本的な機能等を実装した、システム全体を管理するもの。

特定個人情報保護評価書（素案） 用語解説

※上から50音順・アルファベット順

項番	索引	用語	解説
45	V	VPN	ヴァーチャル・プライベート・ネットワークの略称。 公衆回線上に仮想的に作る専用回線で、他者からの覗き見や改ざんなどの不正アクセスを防ぎ、安全な通信を確保するためのもの。